

# ユニバーサル・ラン

## パラバドミントン（車いす）体験授業



LIXILは「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」に向けて、多様化する顧客ニーズに応え、年齢、性別、障がいの有無などを問わず、すべての人びとの健康で快適な暮らしを支えることを目指しています。

誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD）を組み込んだ水まわり製品・住宅建材やサービスの開発および提供のほか、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）を推進する啓発活動にも取り組んでいます。

活動の一つとして、スポーツを通じて多様性を学ぶ体験授業「ユニバーサル・ラン」を実施しています。これは、子どもたちが自分とは違う他者を思いやり、配慮できる心を育むことを目的としています。

授業では、講師のパラスリートとの交流やスポーツの体験を通じて、車いすを使いこなすアスリートの身体能力や努力を実感することができるほか、障がいのある当事者の経験談に触れていただきながら、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、子どもたちが自分ごととして考える機会となっています。

対象 小学校4・5・6年生

関連する教科 総合学習の時間、道徳、国語、社会、体育

ねらい 年齢、性別、国籍、障がいの有無などの多様性に関する理解を深める。



● 体験・実技

- ・アスリートの紹介
- ・車いすについての説明
- ・準備体操
- ・パラバドミントンの体験

● 座学

- ・「多様性って何だろう？」を考える
- ・共生社会に向けて、みんなにいい暮らしを考える
- ・グループディスカッション

※上記は1クラスで実施の場合。1日の最大実施可能数は3クラスとなります。

授業形式・講義資料



講義では車いすについて学んだり、障がいを含めた様々な多様性について理解を深め、みんなが暮らしやすい社会について考えます。

授業を受けた子どもの感想

- 車椅子だと足と違って細かく動くことができなかった。普段から車椅子に乗っている人たちはいろいろな工夫をして生活を送っていることはとてもすごいと思う
- 多様性という言葉は知っていたけど、意味までは分かっていなかった。授業の後は人に説明できるくらいになった

先生の感想

- 人を見た目で判断するのではなく、相手と関わることで、初めて相手を知ることができるんだと感じた児童も多くいたようでした。今回経験したことを家族や友だちに話した子がたくさんいたようです

講師を務めるアスリートからのメッセージ

- パラスポーツをきっかけに、パラスポーツの魅力と障がいのことも理解してもらい、心のバリアフリーを目指していきたい

